

議事要旨(2) 金融商品会計基準の見直しについて

加藤 ASBJ 常勤委員より、IASB における金融商品会計基準の見直しの動向について説明がなされた。

委員からの主な意見は下記のとおりである。

- 11月9日に公表された IFRS 第9号に対する欧州の対応について
 - 欧州で IFRS 第9号の承認手続きが延期されたこと背景について説明してほしい。
 - ⇒ (ASBJ からの説明) IFRS 第9号は欧州の要望を踏まえて開発されたが、金融機関が保有する金融商品のうち公正価値評価するものが増加することについて懸念が持たれている。

- 米国の動向について
 - FASB のこれまでの審議では、公正価値評価の範囲を IASB よりも広くする方向で検討されているが、今後の動向はどうか。
 - ⇒ (ASBJ からの説明) 分類及び測定以外については、なるべく IASB と合わせる方針とされており、IASB との合同会議が毎月行われる予定である。分類及び測定については、既に IASB の基準が確定している中で米国がどのように対応するか予測し難い部分がある。
 - 米国の政権が交代してから IFRS に対するスタンスにも変化が見受けられるが、日本としてはどう対応していくのか。
 - ⇒ (ASBJ からの説明) ASBJ としては引き続きコンバージェンスを進めていくが、米国と IASB の結論が異なる分野については、状況を見極めて慎重に対応すべきと考えている。

以上